

Miranti



警告

怪我を避けるため、製品を使用する前に必ず本取扱説明書及び付属の文書をよくお読みください。

意匠方針と著作権

® および ™ は Arjo グループ会社に属する商標です。

© Arjo 2022 年。

当社の方針の一つは継続的改善を掲げているため、当社では事前の通知なしに設計・デザインを変更する権利を留保しています。本書の内容の全部あるいは一部を Arjo の同意なしに複製することはできません

目次

はじめに	4
使用目的	5
安全の手順	6
準備	7
部品名	8
製品の詳細・機能	10
持ち上げ	10
中央ブレーキ	10
コントロールパネル	10
ハンドコントロール	10
ハンドル	10
サイドガードと患者安全グリップ	11
電動背もたれ/フックロープ	11
大腿部サポートクッション	12
ヘッドレスト	12
緊急停止	12
緊急 高/低	13
バッテリー充電器	13
体重計（オプション）	13
パワードライブ（オプション）	14
手動運転	14
安全ベルト	15
患者の移乗	18
患者の入浴	22
洗浄と消毒の手順	24
バッテリー使用上の注意	28
お手入れと定期保守・点検	29
トラブルシューティング	32
技術仕様	33
寸法	35
ラベル	37
電磁両立性	39
部品とアクセサリ	41

はじめに

Arjo 製品をご購入いただき、ありがとうございます。

Miranti 入浴用リフトトロリーは、病院、介護施設、その他のヘルスケア向けに特別に開発された高品質な製品シリーズの一つです。

当社はお客様のニーズにお応えすることに専念しており、最高の製品とともに、お客様のスタッフが Arjo 製品から最大のメリットを引き出せるよう、製品トレーニングも提供しております。

Arjo 製品の操作とメンテナンスに関しては、弊社にお問い合わせください。

本取扱説明書を最後までお読みください。

Miranti 入浴用リフトトロリーを使用する前に、本取扱説明書 (IFU) を必ずお読みください。本取扱説明書の内容は、製品の適切な操作とメンテナンスに関し重要であり、製品を保護する上で役に立ち、ご満足いただける形で製品をご利用いただけます。本取扱説明書の内容には、安全面で重要な情報も含まれているので、不必要な怪我を避けるためにも必ずよく読んで理解してください。

承認を受けずに行った Arjo 装置の改造は、安全性を損なう恐れがあります。承認を受けずに行った製品の改造が原因で発生した事故、未遂事故、製品不具合について、Arjo は責任を負いません。

予期しない動作や事故の報告

予期しない動作や事故が発生したときは、最寄りの Arjo 代理店にご連絡ください。連絡先の情報は本取扱説明書の最後のページに記載されています。

重大な事象

医療機器もしくは福祉機器に関連して、お客様または患者様に影響する重大な事象が発生した場合、ユーザまたは患者様は、その事象を医療機器製造元あるいは販売元に必ず報告してください。欧州連合では、ユーザは、重大な事象を居住する加盟国の所轄官庁にも報告してください。

サービスおよびサポート

毎年、有資格サービス担当者による Miranti 入浴用リフトトロリーの定期点検を実施して、製品の安全性と正常な操作性を確認してください。29 ページのお手入れと定期保守・点検のセクションを参照してください。

詳細情報が必要な場合は、長期的な安全性、信頼性および製品の価値を最大限引き出す包括的サポートおよびサービスについて Arjo 代理店にお問い合わせください。

交換部品については、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。電話番号は本取扱説明書 (IFU) の最終ページに記載されています。

本取扱説明書の定義

警告

意味：
安全上の警告内容の理解不足であったり、警告に従わなかった場合、他人も含めご自身も怪我をする恐れがあります。

注意

意味：
手順に従わなかった場合、システム全体あるいは一部に不具合が発生する恐れがあります。

注記

意味：
システムまたは製品の正しい使用方法に関する重要な情報です。



意味：
メーカー名及び住所。

使用目的

本製品は、その使用目的と安全手順に従い使用してください。本製品を使用する方は、本取扱説明書 (IFU) 手順を必ずお読みになり、理解するようにしてください。

不明点がある場合、Arjo 代理店にお問い合わせください。

本製品は、介護施設や病院での入浴介助において、成人の利用者を浴室へあるいは浴室から移動させることを意図した製品です。

Miranti は、介助の環境や手順に関するトレーニングを受け、操作と取扱説明書 (IFU) の手順を順守できる介助者が使用してください。

Miranti は、本取扱説明書で指定された用途にのみ使用してください。それ以外の使用は禁止します。

利用者のアセスメント

それぞれの施設において、定期的にあセスメントを行って頂くことを推奨します。介助者は次の基準に従って、使用前に、各利用者のアセスメントを行ってください。

- Miranti 利用者の体重は 160 kg/353 lbs を超えないようにしてください。
- Miranti 上で安全に臥位姿勢を維持できる利用者であるか確認してください。また身体機能に制限のある利用者においては、臥位姿勢維持の指示が理解できるかを確認してください。

利用者が上記に当てはまらない場合は、別の製品 / システムを使用してください。

耐用年数

Miranti の耐用年数は使用可能な最大期間です。

本製品の耐用年数は 10 年で、安全ベルトの耐用年数は 2 年です。バッテリーの保管期間、充電・使用頻度により、バッテリーの想定寿命は 2 年から 5 年の間で変化します。

耐用年数は、本取扱説明書に記載する保守点検が実施されていることを条件としています。

取扱説明書に記載する耐用年数の期間中であっても、損耗の状況によっては、キャスターやハンドコントロールなどの製品部品の交換が必要になることがあります。

安全の手順

警告

爆発や火災を防止するため、酸素濃度の高い環境、熱源や可燃性の麻酔剤が存在する場所で製品をけっして使用しないでください。

警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

警告

患者の挟み込みを防止するため、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

警告

製品が傾いて、患者が落下するのを防ぐため、排水溝や穴、1:50 (1.15°) を超える勾配がある場所で製品を使用しないでください。

警告

怪我を防止するため、絶対に患者様を一人にさせないでください。

警告

移乗中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてにブレーキをかけるようにしてください。

警告

落下を防ぐために、利用者の体重は使用されている全ての製品あるいは付属品の安全耐荷重 (SWL) よりも軽いことを確認してください。

警告

患者の落下防止のために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

準備

初めて使用するにあたり

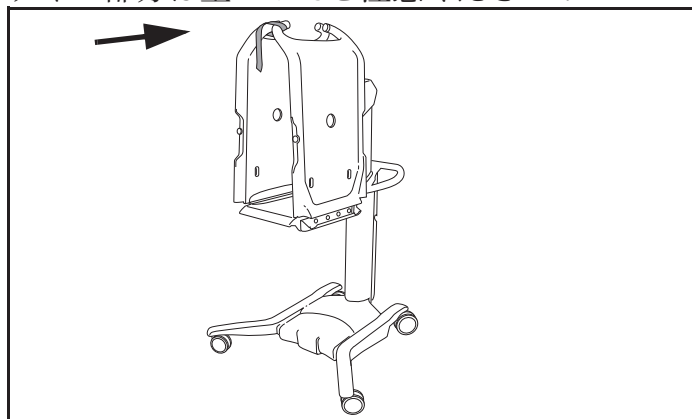
(10 ステップ)

- 1 梱包内容に損傷がないか、目視点検して下さい。輸送によって製品本体が損傷していた場合、直ちに運送会社に苦情を申し立ててください。
- 2 梱包材は国内規制に従ってリサイクルして下さい。
- 3 製品の部品がすべて揃っているか確認し、セクション 8 ページの部品名と比較します。不足あるいは損傷している部品がある場合、本製品を使用しないでください。
- 4 取扱説明書をお読みください。
- 5 24 ページの洗浄と消毒の手順のセクションの説明に従って、製品を消毒してください。
- 6 バッテリー充電器を開梱した後、バッテリー充電器の取扱説明書に従って設置してください。
- 7 バッテリーを充電します。
- 8 機能試験を実施します。29 ページのお手入れと定期保守・点検のセクションを参照してください。
- 9 取扱説明書はいつでも参照できる特定の場所をお選びください。
- 10 患者様の救急事態に備えて、緊急プランをあらかじめ作成してください。

注記

サポートとサービスに関する質問は、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。連絡先の電話番号は、本取扱説明書の最終ページを参照してください。

ストレッチャー部分を上に折りたたむと、付属のスリングを使ってストレッチャーの部分を固定できます。下の図をご覧ください。ストレッチャー部分は重いのでご注意ください！



使用するにあたり

(4 ステップ)

- 1 部品がすべて揃っているかチェックします。部品記号表示ページと照合します。
- 2 不足あるいは損傷している部品がある場合、本製品を使用しないでください。

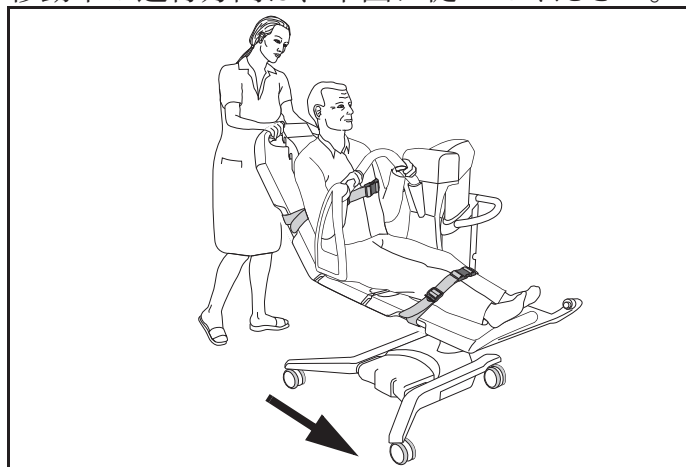
3 警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

- 4 バッテリーが完全に充電されていることを確認してください。

Miranti 入浴用リフトローリーの方向


移動中の進行方向は、下図に従ってください。



本取扱説明書における、右方向または左方向は、下に示すとおりです。



部品名

- 1 ストレッチャーとフレーム 
- 2 ヘッドレスト
- 3 大腿部サポートクッション
- 4 移動用ハンドル
- 5 ハンドル
- 6 バッテリー
- 7 ハンドコントロール
- 8 サイドガード
- 9 患者安全グリップ
- 10 ピラー
- 11 緊急 高 / 低
- 12 フックロープ
- 13 中央ブレーキ（シャーシの下に配置）
- 14 コントロールパネル
- 15 シャーシ
- 16 キャスター
- 17 パワードライブ（オプション）
- 18 パワードライブハンドル（オプション）
- 19 体重計（オプション）
- 20 安全ベルト
- 21 電動背もたれ



適用部品：B 等級
全ての装着部品を含むストレッチャーとフレーム。

IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護。

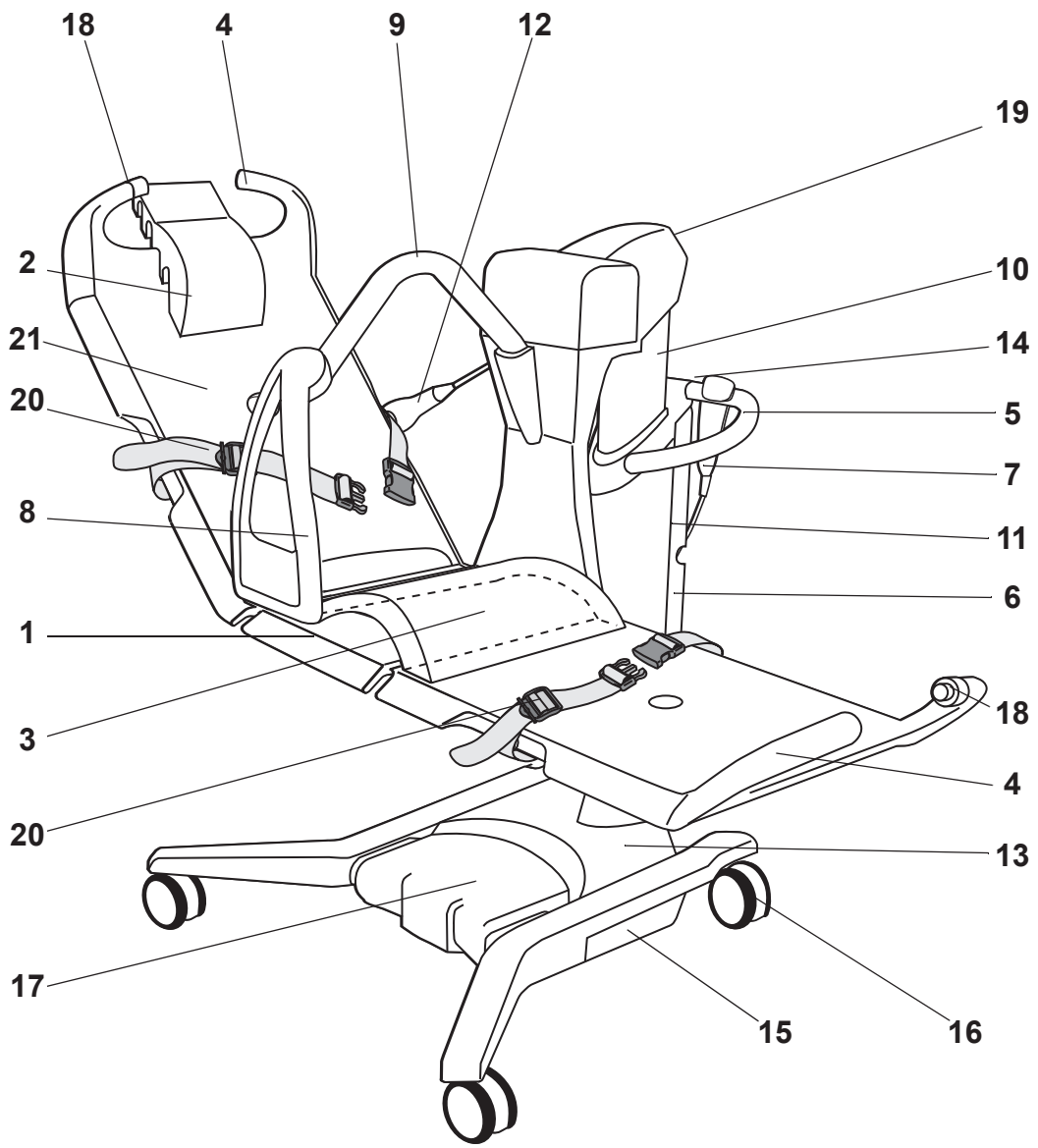
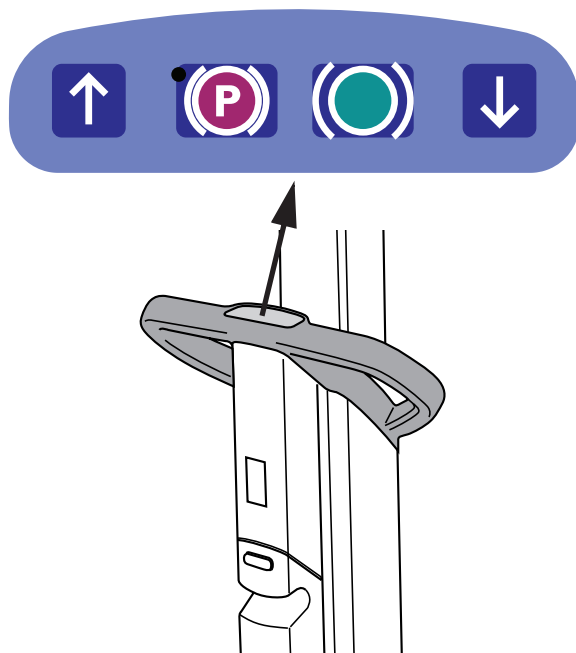


図 1



持ち上げ

電動式アクチュエータで、上昇/下降を行います。

中央ブレーキ

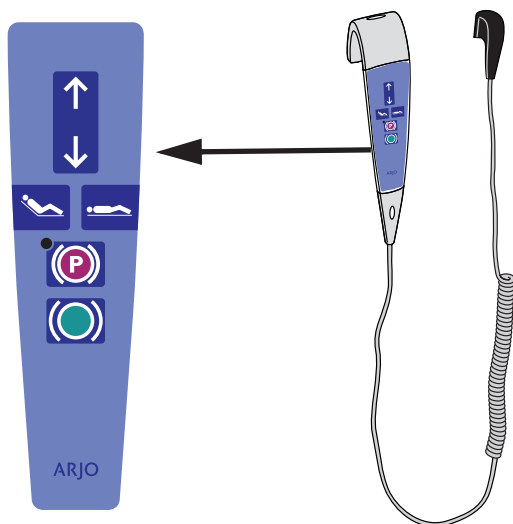
中央ブレーキは2本のブレーキパッド付きシリンダーで構成されており、シャーシの下に付いています。コントロールパネルまたはハンドコントロールで操作します。ブレーキが作動すると、ブレーキパッドがフロアを押し付けます。

コントロールパネル

パネルには4つのコントロールボタンがあり、以下の記号が付いています。(図1を参照)

- ・ 上向き矢印：Miranti 入浴用リフトトロリーを上昇させます。
- ・ 下向き矢印：Miranti 入浴用リフトトロリーを下降させます。
- ・ 赤紫色のブレーキ記号：中央ブレーキが作動します。作動すると点滅します。
- ・ 緑色のブレーキ記号：中央ブレーキが解除されています。

図 2

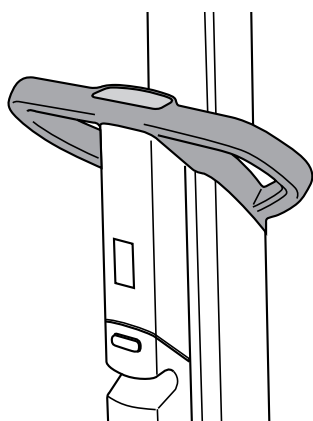


ハンドコントロール

ハンドコントロールは一体型フックで、Miranti リフト式入浴トロリーのさまざまな部品の取り付けが簡単になります。(図2参照)

- ・ ハンドコントロールのフックを外し、手に持ちます。
- ・ Miranti 入浴用リフトトロリーを上昇させるには、ハンドコントロール上の「上向き矢印」ボタンを押します。
- ・ Miranti 入浴用リフトトロリーを下降させるには、ハンドコントロール上の「下向き矢印」ボタンを押します。
- ・ ブレーキを作動させるには、赤紫色のボタンを押します。作動すると点滅します。
- ・ 中央ブレーキを解除するには、緑色のボタンを押します。
- ・ 背もたれを起こすには、人が起きている図柄のボタンを押します。
- ・ 背もたれを倒すには、人が寝ている図柄のボタンを押します。

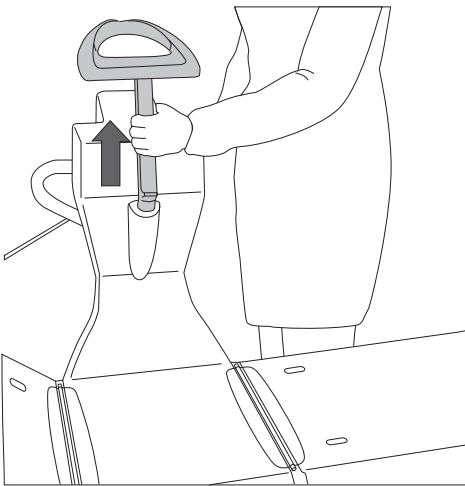
図 3



ハンドル

浴槽やベッドに対して Miranti 入浴用リフトトロリーの位置調整するには、位置決めハンドルを使用します。(図3を参照)

図 1

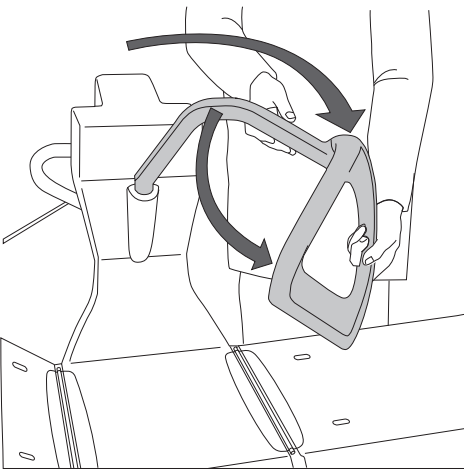


サイドガードと患者安全グリップ (3 ステップ)

患者が横から落下するのを防ぐため、サイドガードと、患者が手で掴める患者安全グリップは、ヒンジバーに組み込まれています。

1 バーを上を持ち上げます。(図 1 参照)

図 2



2 サイドガードを片手で、患者安全グリップを別の手で掴みます。(図 2 参照)

3 最初に、患者安全グリップを患者の頭から遠ざかるように下げて、次にサイドガードの位置を決めます。

図 3

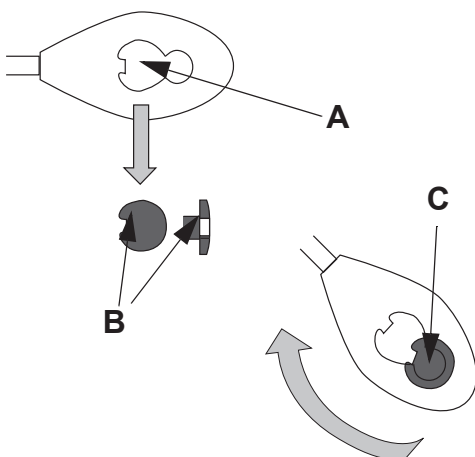


電動背もたれ / フックロープ (5 ステップ)

ストレッチャー部分の両端は背もたれとして使用可能で、ハンドコントロールによる操作によって電動モーターが上昇または下降します。背もたれを調整するフックロープは、患者がストレッチャーに乗る前あるいは乗った後に、ストレッチャー（背もたれ）を選んだ側に固定する必要があります。

1 フックロープは、ストレッチャー上のボタンヘッドに取り付けます。(図 3 を参照)

図 4



2 穴(A)のタップがボタン(B)のノッチに取り付けられたか確認してください。(図 4 参照)

3 ボタンヘッドを鍵穴形状の狭い部分に移動します。

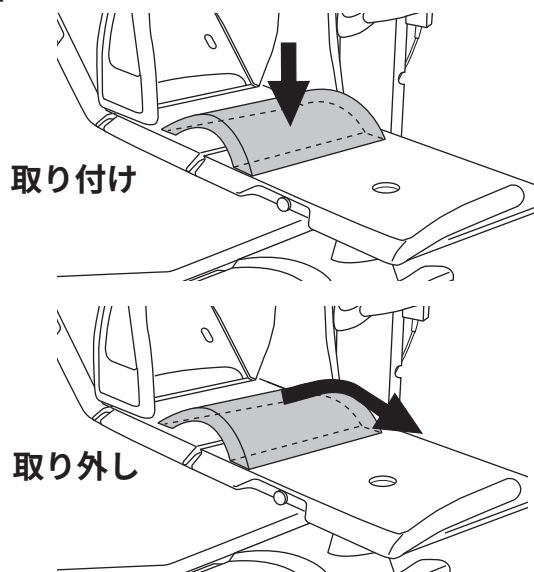
4 フックを上回転して、フックロープが固定されていることを確認してください(C)。(図 4 参照)

5 フック固定されているか再度確認してください。

注記

患者がストレッチャー上で正しい位置にいることを確認します。

図 5



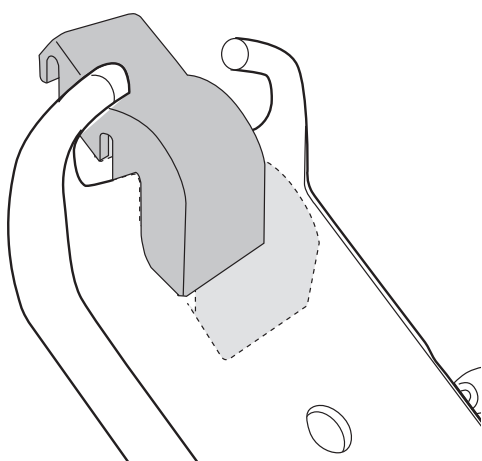
大腿部サポートクッション

移動および入浴中に快適さが得られるように、患者の大腿部の下にサポートクッションを配置する必要があります。(図 5 参照)

クッションの弾性部は患者の臀部に対面するようにしてください。ガイドピンが穴に入るようにクッションを押します。

クッションを外すには、レッグレストに向かってクッションを傾けます。

図 6

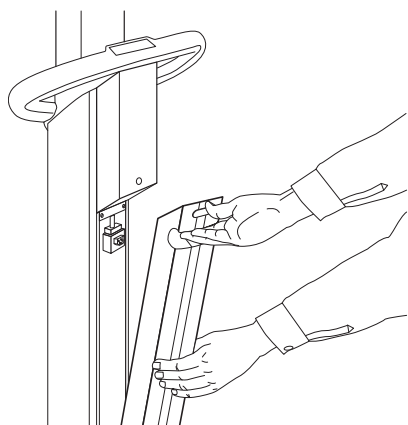


ヘッドレスト

ヘッドレストは選択した背もたれに側で簡単に調整して、患者の身長に合わせることができます。

(図 6 を参照)

図 7

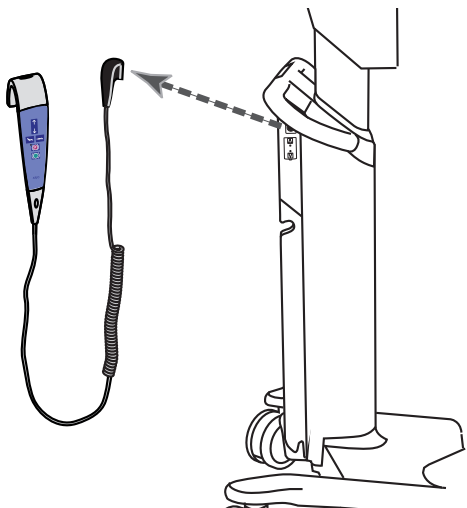


緊急停止

何らかの理由で *Miranti* 入浴用リフトトロリーがコントロールボタンに反応しない場合、バッテリー上のボタンを押して上昇動作を素早く停止し、バッテリーを外すことができます。(図 7 参照)

Miranti 入浴用リフトトロリーを再度使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

図 8



緊急 高 / 低

(2 ステップ)

何らかの理由で Miranti リフト式入浴トロリーがコントロールボタンに反応しない場合、緊急 高 / 低を用いて Miranti リフト式入浴トロリーを上昇または降下することができます。

1 ハンドコントロールを外します。(図 8 参照)

2 **注意**

先端が尖った物で穴を押さないでください。

先端が尖っていない細い物 (ペン先など) でパネルの穴を押します。(図 9 参照)

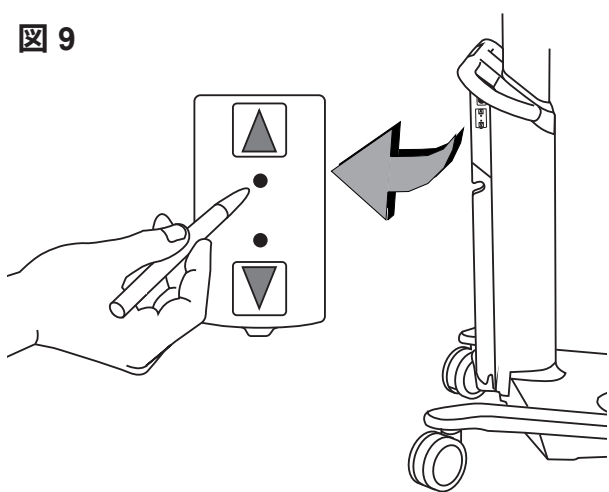
- Miranti 入浴用リフトトロリーを上昇させるには、「上向き矢印」の横の穴を押します。
- Miranti 入浴用リフトトロリーを下降させるには、「下向き矢印」の横の穴を押します。

注記

「上昇」と「下降」の間、ビープ音が鳴り続けます。

Miranti 入浴用リフトトロリーを再度使用する前に、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

図 9



バッテリー充電器

適切な壁に充電器を取り付けた後、そのプラグを壁のコンセントに差し込みます。(図 10 参照)

警告

火災と感電を防止するため、乾燥して埃の無い場所に設置して使用してください。

バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

図 10

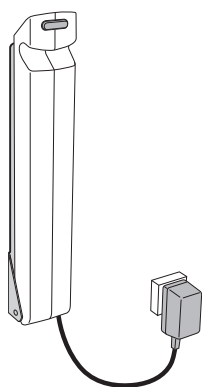
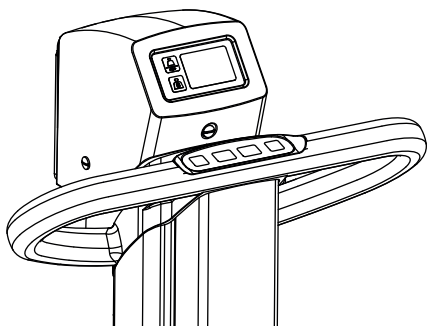


図 11

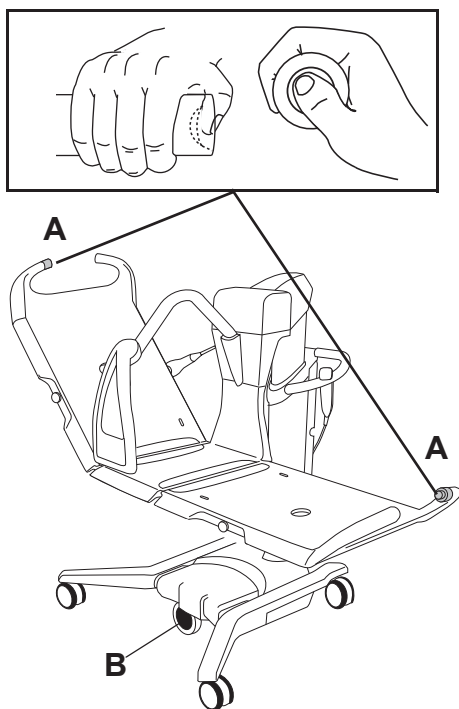


体重計 (オプション)

体重計はリフトピラーに組み込まれています。(図 11 参照)

オプションの体重計を使用するには、体重計の IFU を参照してください。

図 12



パワードライブ（オプション）

電動モーターと5thホイール(B)の組み合わせでパワードライブになります。ホイールは、いずれか側の右側の移動ハンドル(A)に付いているボタンで作動できます。(図12参照)

Miranti 入浴用リフトトロリーは前方にのみ移動できます。

ホイールにはスプリングが取り付けられているため、例えば、敷居、排水溝、その他（フロアの段差 10 mm まで）の段差にも対応できます。

運転方法

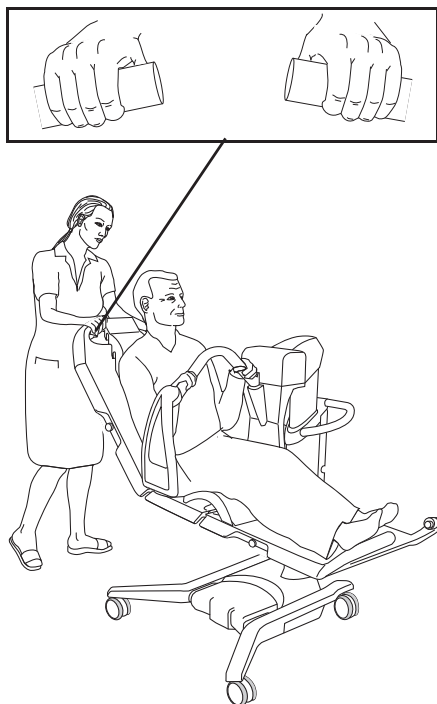
(4 ステップ)

- 1 移動ハンドル上のボタン(A)を押して、ドライブを作動させます。(図12参照)
- 2 5th ホイールは降下して、数秒で運転が開始します。
- 3 運転は、ボタンを押している限り続きます。
- 4 ボタンを放すと、5th ホイールは運転を停止して下降した状態を約 4 秒間維持します。この 4 秒の間、ホイールはピポットとして機能するため、横あるいは後方に向きを簡単に変えることができます。ボタンを再度押して、運転を再開します。

注記

ブレーキが作動している間は、パワードライブは使用できません。

図 13



高精度な運転

狭い通路での回転や走行を上手に制御するには、短い間隔でボタンを放したり、押ししたりしてください。

手動運転

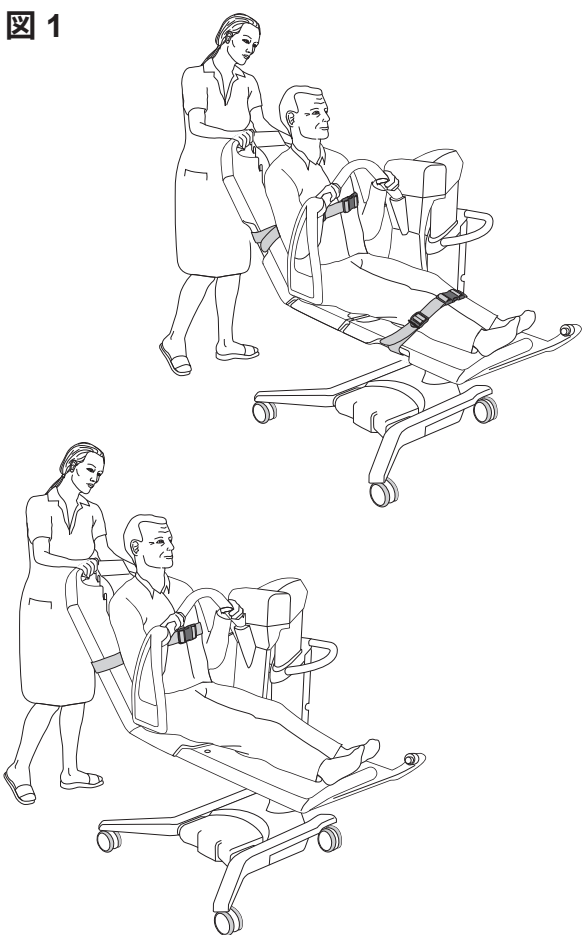
(2 ステップ)

- 1 移動ハンドルを握ります。(図13参照)
- 2 Miranti 入浴用リフトトロリーを前に移動します。

注記

運転中はブレーキを作動させないでください。

図 1



安全ベルト

警告

患者が落下するのを防ぐために、安全ベルトが損傷していないことを確認してください。損傷している場合、その安全ベルトは使用せず、新しいものと交換してください。

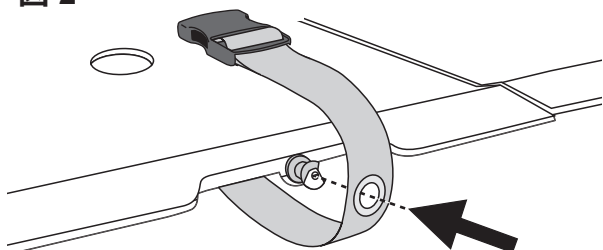
警告

患者の落下防止のために、患者が正しい位置に座っていて、なおかつ安全ベルトが患者の体を適切に固定していることを確認してください。

Miranti 入浴用リフトロリーには、2つの安全ベルトが装備されており、1つは胸部に、もう1つは脚部に使用します。これらは同じ方法で使用します。

上部安全ベルトあるいは両方が使用できます。下部安全ベルトのみを使用しないでください。(図1を参照)

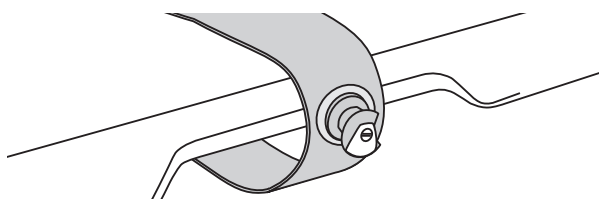
図 2



取り付けとバックル留め方法 (5 ステップ)

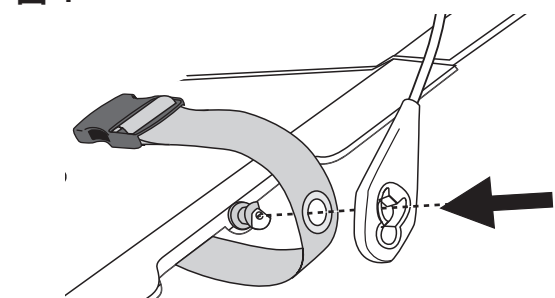
1 バックルに最も近いアイレットをノブに押し込んで、安全ベルトを取り付けます。(図2参照)

図 3



2 ベルトがノブの内側にしっかりと固定されていることを確認します。(図3を参照)

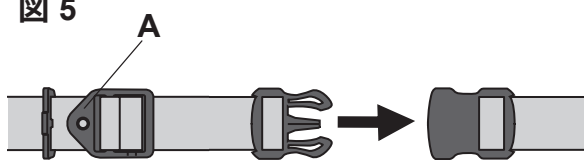
図 4



3 上部安全ベルトのみ：セクション II ページの電動背もたれ/フックロープに従って、フックロープを安全ベルトの上でノブに取り付けます。(図4を参照)

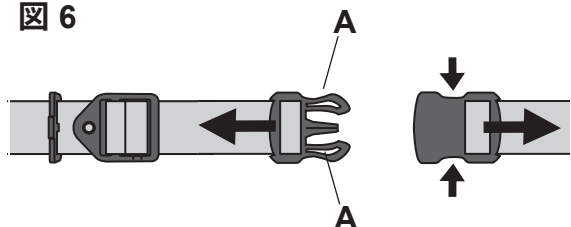
次のページへ

図 5



- 4 バックルをはめ込んで 安全ベルト を取り付けます。締付けクリップの矢印側 (A) が上側にあることを確認します。(図 5 参照)

図 6

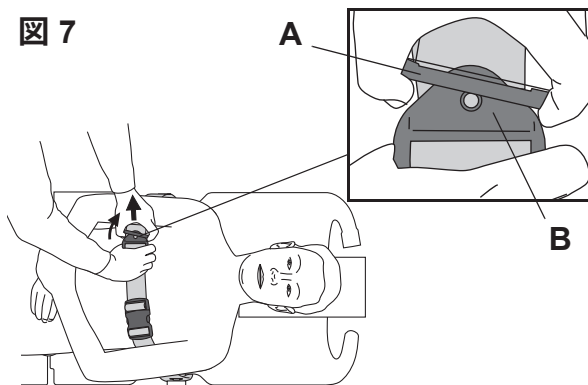


- 5 スプリングノブ (A) を押しながらバックルを引き離し、安全ベルトのバックルを解除します。(図 6 を参照)

調整 (6 ステップ)

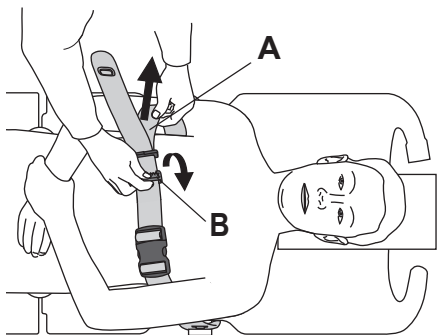
上部安全ベルトを示す

図 7



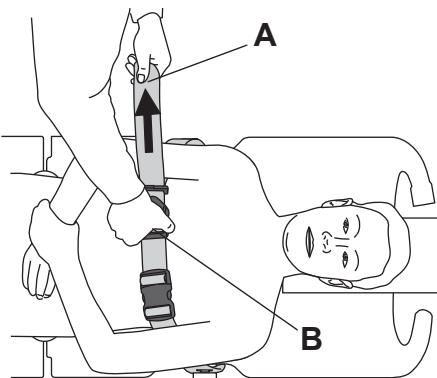
- 1 小さい方の締付けクリップ (A) をやや上にひねり、締付けクリップ (A) と (B) を引き上げます。(図 7 参照)

図 8



- 2 大きい方の締め付けクリップ (B) を持ち上げながら、インナーストラップ (A) を引いて安全ベルトを緩めます。(図 8 参照)

図 9

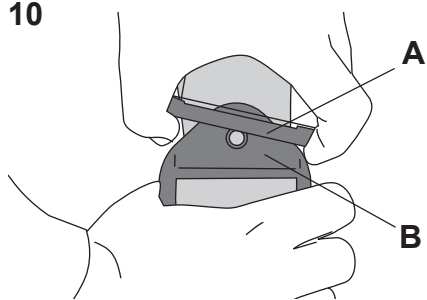


- 3 大きい方の締め付けクリップ (B) を押しえながら、外側のストラップ (A) を引いて安全ベルトを締め付けます。(図 9 参照)

- 4 安全ベルトが患者の体をしっかり固定していることを確認してください。

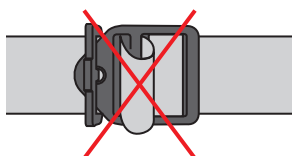
次のページへ

図 10



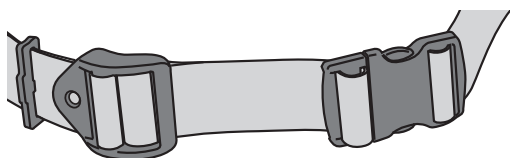
- 5 小さい方の締付けクリップ (A) を大きい方の締付けクリップ (B) に挿入して締付けクリップをロックします。(図 10 参照)

図 11



- 6 ロック後のクリップの締付けで安全ベルトが緩みがないことを確認します。(図 11 参照)

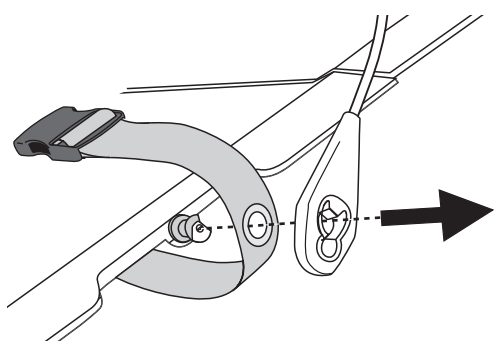
図 12



使用しない時 (1 ステップ)

- 1 *Miranti* 入浴用リフトトロリーを使用しない時は、ストレッチャー上で安全ベルトのバックルが接続されていることを確認してください。(図 12 参照)

図 13



取り外し方法 (1 ステップ)

- 1 フックロープ (上部安全ベルトのみ) と安全ベルトをノブから外します。(図 13 参照)

患者の移乗

警告

怪我を防止するため、絶対に患者様を一人にさせないでください。

ベッドから (17ステップ)

- 1 必要な場合、ベッドのブレーキをかけます。
- 2 ベッドのサイドレールを下に下げます。
- 3 ベッドで患者の脱衣を行い、バスローブ（背中にボタンがあるものが好ましい）を着せます。
- 4 背もたれに使用する *Miranti* 入浴用リフトトロリーの一端を選んで、フックロープを取り付けます。可能であれば、浴槽への移乗のために、*Miranti* 入浴用リフトトロリーの右側から患者に近づきます。
- 5 必要に応じて安全ベルトを取り付けます。安全ベルトは、フックロープを取り付ける前に取り付ける必要があります。（図1参照）
- 6 大腿部サポートクッションを所定の位置に配置します。
- 7 *Miranti* 入浴用リフトトロリーの反対側を向くよう、患者の体の向きを変えます。
- 8 ストレッチャーを患者にできる限り近くなるようベッド上に移動します。（図2参照）
- 9 シート部分がベッドをしっかり押さえるように、*Miranti* 入浴用リフトトロリーを下降させます。体の部分がシートとベッドに挟まらないよう注意してください。フックロープには緩みが必要です。（図2参照）
- 10 *Miranti* 入浴用リフトトロリーの中央ブレーキを作動させます。

図1

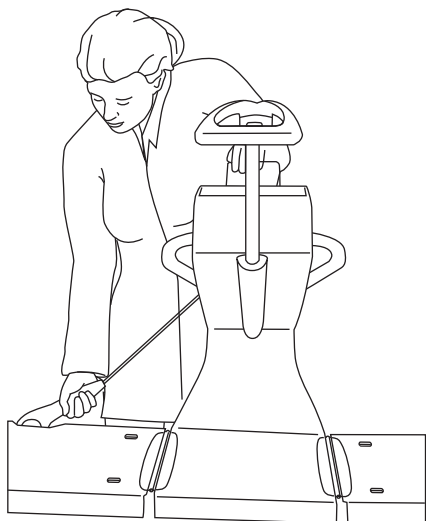


図2

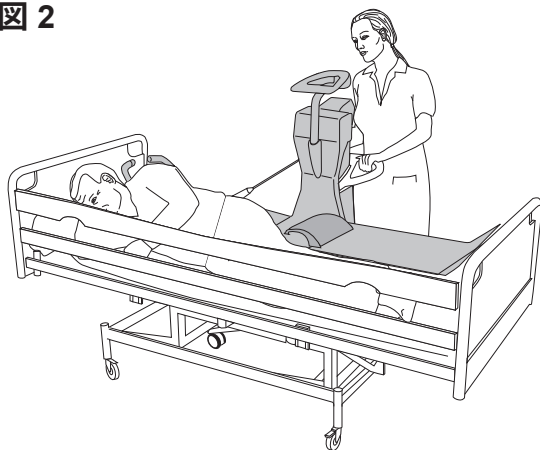


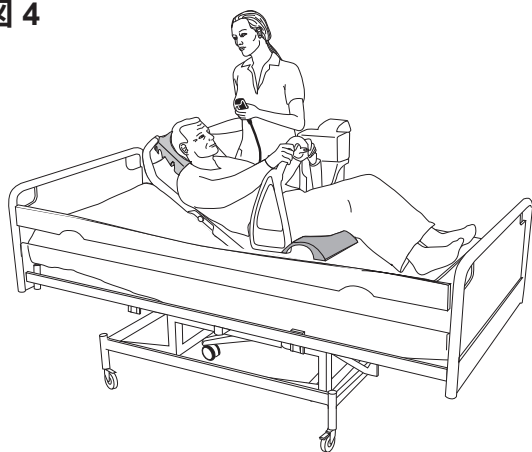
図3



- 11 患者を仰向けにさせて、ストレッチャーの正しい位置に寝ていることを確認します。（図3を参照）

次のページへ

図 4

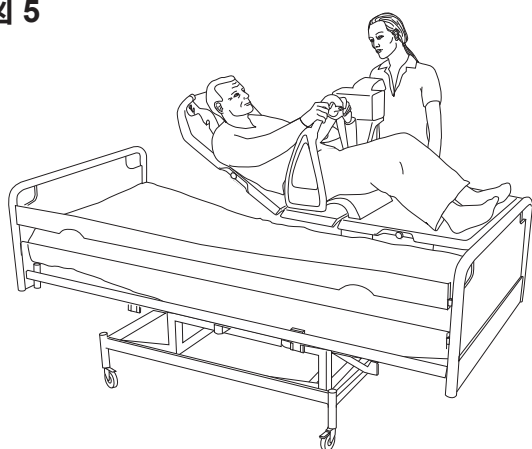


12 患者安全グリップとサイドガードを下げます。ヘッドレストを所定の位置に置いて、背もたれを患者にとって快適な高さまで起こします。患者の手を患者用安全グリップ上に置きます。(図 4 参照)

13 *Miranti* 入浴用リフトトロリーをベッドから移動するのに十分な高さまでトロリーのストレッチャー部分を上昇させます。

14 *Miranti* 入浴用リフトトロリーの中央ブレーキを解除します。

図 5



15 **警告**

患者の挟み込みを防止するために、移乗中は患者の髪の毛、両腕および両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

Miranti 入浴用リフトトロリーをベッドから引きまします。*Miranti* 入浴用リフトトロリーがベッドやその他の機器などと干渉しないことを確認してください。(図 5 参照)

図 6



16 **警告**

使用中に製品が転倒しないように、製品の近くにある他の機器を上げたり下げたりせず、低くするときは固定されたものに気をつけてください。

介助者にとって作業しやすい高さまでストレッチャーを下げます。移動中は移動ハンドルを握ってください。(図 6 を参照)

17 患者を移乗させた後、患者が正しい姿勢で座っていることを常に確認してください。

ベッドへ移乗 (16 ステップ)

警告

移乗中に患者が落下するのを防ぐために、使用中の機器すべてにブレーキをかけるようにしてください。

- 1 必要な場合、ベッドのブレーキをかけます。
- 2 ベッドのサイドレールを下に下げます。
- 3 *Miranti* 入浴用リフトトロリーが浴室から出てきている場合、ベッドの上にタオルを敷いてベッドが濡れないようにしてください。
- 4 ストレッチャーがベッドに対して安全な距離が保たれるように、*Miranti* 入浴用リフトトロリーの高さを調整してください。(図1を参照)

5 警告

患者の挟み込みを防止するため、移乗中は患者の髪の毛、両腕及び両足を体に密着させて、指定されたサポートを使用するようにしてください。

Miranti 入浴用リフトトロリーをベッド上に移動します。

- 6 中央ブレーキをかけてください。

7 警告

性器が挟まったりしないように、浴槽の縁やトイレ、ベッドパン、その他家具類の上を移乗する際に十分な隙間があることを確認してください。

患者の手を患者用安全グリップ上に置きます。シート部分がベッドをしっかり押さえるように、*Miranti* 入浴用リフトトロリーを下降させます。体のいかなる部分もストレッチャーとベッドの間に挟まらないように注意してください。(図2参照)

- 8 ストレッチャーが平らになるまで背もたれを下げます。
- 9 患者安全グリップとサイドガードを持ち上げます。
- 10 安全ベルトを患者から外します。

次のページへ

図1

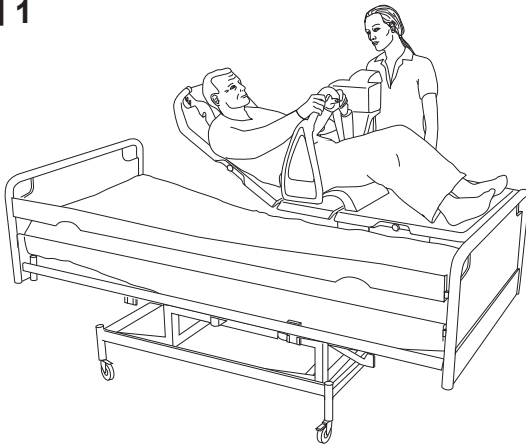


図2

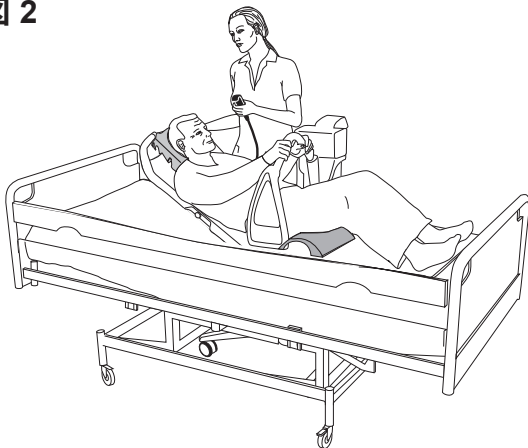
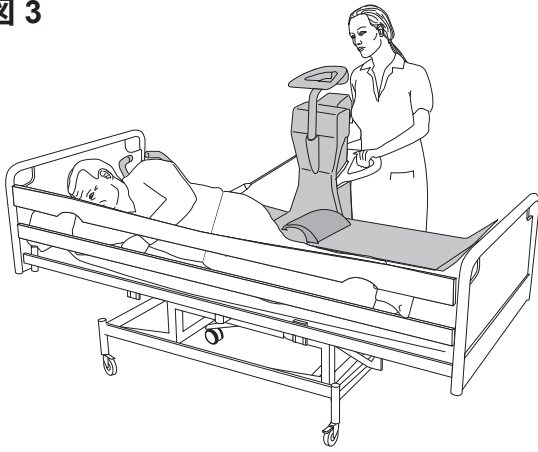


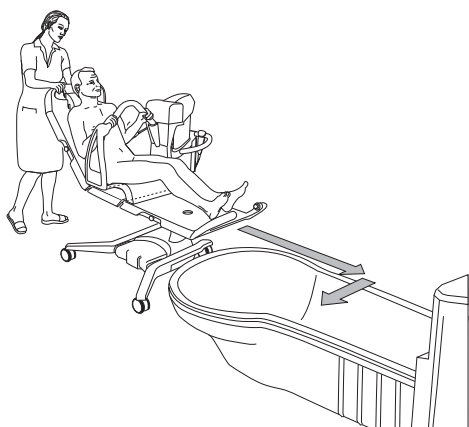
図 3



- 11 *Miranti* 入浴用リフトトロリーの反対側を向くよう、患者の体の向きを変えます。(図3参照)
- 12 ストレッチャーを上昇させて、ベッドから離します。
- 13 中央ブレーキを解除します。
- 14 *Miranti* 入浴用リフトトロリーをベッドから引きます。
- 15 患者を仰向けにさせます。
- 16 ベッドのサイドレールを引き上げます。

患者の入浴

図 1



入浴機器の取扱説明書（別冊）をお読みください。

パワードライブ (9ステップ)

- 1 浴槽の縁を超えるように、ストレッチャーを上昇させます。(図1参照)

図 2



- 2 パワードライブを作動させて、患者を浴槽の縁に沿って移動し、最後に浴槽の真上に配置します。浴槽の脚部にご注意ください。(図2参照)

図 3



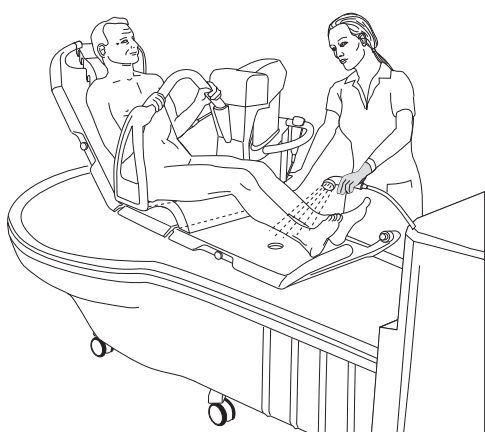
- 3 浴槽の高さが調整可能な場合、快適な高さまで浴槽を上昇させます。(図3参照)

- 4 浴槽の底で安定するように、ストレッチャーを下降させます。

- 5 背もたれを患者にとって快適な位置にまで下げます。

- 6 患者を入浴させます。

図 4



- 7 入浴後は、水を排出します。背もたれを上げて、患者に患者安全グリップをつかんでもらいます。浴槽を最低位置まで下降させます。患者をシャワーで洗身します。(図4参照)

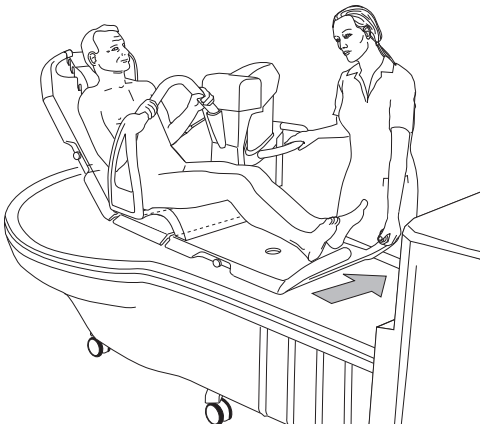
次のページへ

図 5



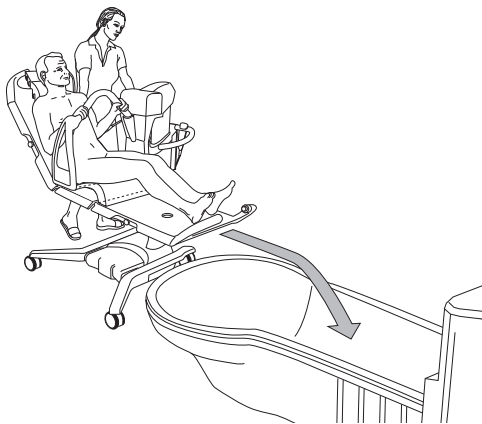
- 8 *Miranti* 入浴用リフトトロリーを浴槽から移動する前に、水滴がフロアに落ちるのを防止するため、患者の体とストレッチャーの下側を拭いてください。ストレッチャーを上昇させます。
(図 5 参照)

図 6



- 9 パワードライブを作動させて、*Miranti* リフト式入浴トロリーを浴槽から移動します。(図 6 を参照)

図 7



手動運転 (2 ステップ)

- 1 浴槽の縁を超えるように、ストレッチャーを上昇させて、患者を浴槽から移動します。(図 7 参照)

図 8



- 2 *Miranti* 入浴用リフトトロリーを浴槽から離します。
(図 8 参照)

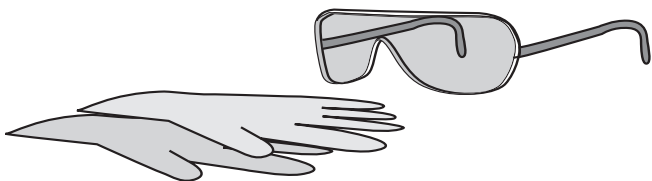
洗浄と消毒の手順

最良の結果を得るためには、Arjo 製消毒液のみを使用することです。

製品の消毒に関してご質問のある場合、または消毒液を発注される場合（セクション 41 ページの部品とアクセサリを参照）、最寄りの Arjo 代理店にお問い合わせください。

以下の手順は、リフトの使用後及び業務終了時に実施するようにしてください。

警告



目と皮膚の怪我を防ぐために、保護用めがねと手袋を必ず装着してください。万一目に入った場合、大量の水で洗い流してください。目や皮膚が炎症を起こしている場合、医師にご相談ください。消毒液の取扱説明書と製品安全データシート (MSDS) を必ずお読みください。

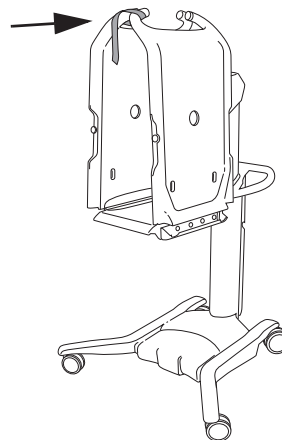
警告

二次感染を防ぐために、常に本取扱説明書の消毒の手順に従ってください。

警告

目や皮膚の炎症を防ぐために、患者様がいる所で決して消毒しないでください。

警告



介助者の怪我を防止するため、消毒作業の間、ストレッチャーをたたんだ状態にしてください。付属ストラップあるいは手でストレッチャーを固定します。

注意

製品の損傷を防ぐために、Arjo 製の消毒液を使用してください。

Miranti 入浴用リフトトローリーの消毒用アクセサリ

- 保護用手袋
- 保護用めがね
- 消毒剤入りスプレーボトル
- 水入りスプレーボトル
- 濡らした布と乾いた布
- 使い捨てタオル
- 毛先の柔らかいブラシ
- 毛先が柔らかく、長い柄の付いたブラシ

クリーニングと消毒を実施するために、ここに記載した 17 ステップに従ってください。

目視できる汚れの除去（17 ステップのうち 1-3）

- 1 ヘッドレスト (A)、大腿部サポートクッション (B)、患者安全グリップ (C) および安全ベルトを外して、浴槽の底に置きます。（図 1 参照）

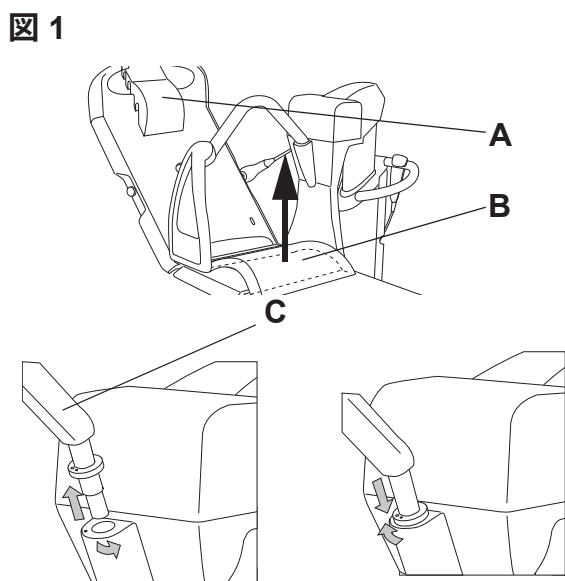
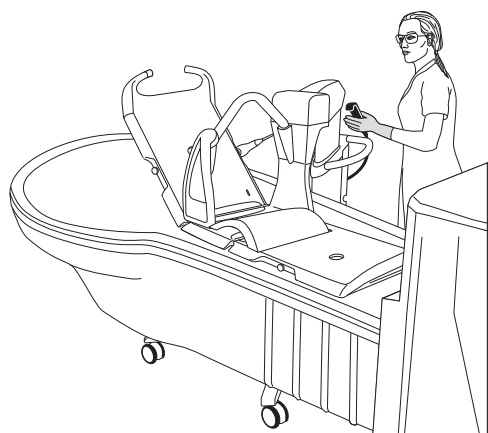


図 2



- 2 浴槽の上に *Miranti* 入浴用リフトトローリーを配置して、降下させます。（図 2 参照）
- 3 洗浄：
 - *Miranti* 入浴用リフトトローリーの上部（洗浄は上部から下方に向かって行う）
 - 取り除いた全ての部品上記から目に見える残留物を石鹼水で湿られた布で取り除きます。あるいは、シャワーをかけながらブラシ及び/またはクロスで拭き取ります。

次のページへ

図 3

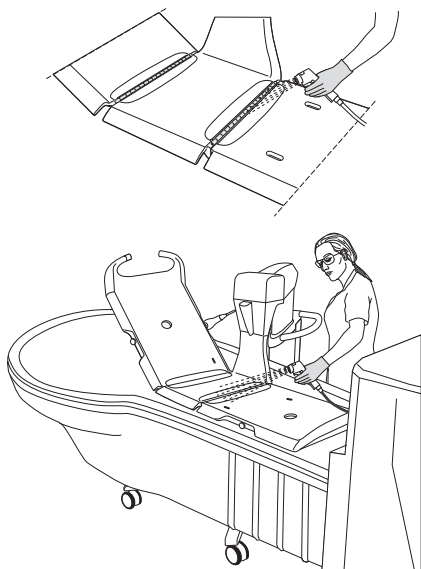


図 4

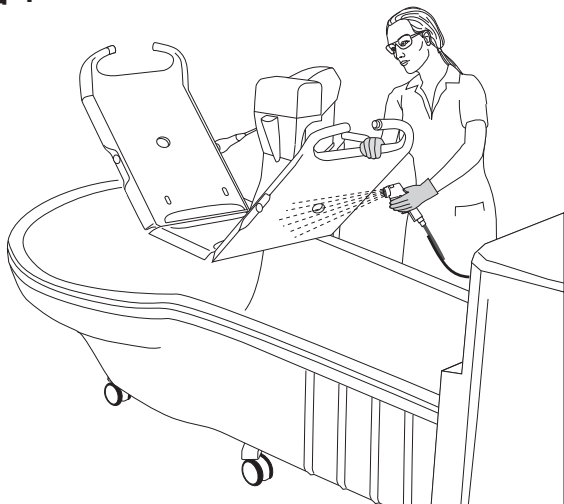
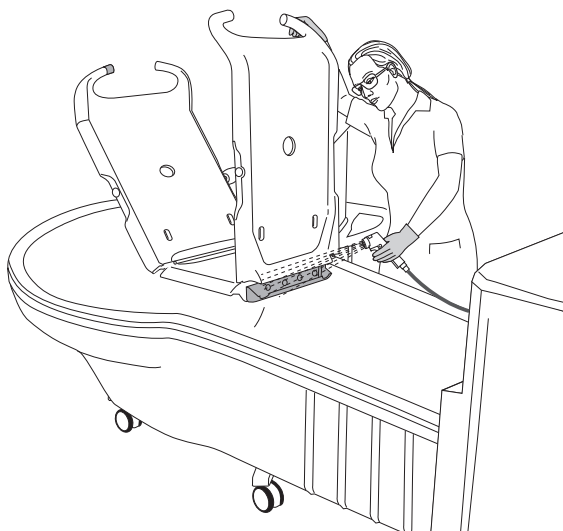


図 5



クリーニング（17 ステップのうち 4-11）

- 4 保護用手袋とめがねを装着します。
- 5 殆どの Arjo 製の浴槽は、消毒目的でスプレーハンドルが装備しています。消毒液の使用方法に関する説明書をお読みください。消毒剤のレベルをチェックします。
- 6 消毒機器を持っていない場合、消毒ボトルに記載された説明に従って混合消毒液をスプレーボトルに入れて使用することができます。
- 7 スプレー消毒（図 3、図 4、図 5 参照）：
 - Miranti 入浴用リフトトロリーの上部
 - 取り除いた全ての部品
 消毒液に浸したブラシを使って汚れを十分に落とします（特にハンドルとハンドコントロール）。
 Miranti 入浴用リフトトロリー上の：ヒンジ部分やストレッチャーの上部にある患者安全グリップの表面、さらにはストレッチャー下側のチャンネルに特に注意を払ってください。
- 8 シャワー（約 25 °C (77 °F)）を出すか、大量の水を散布または注ぎかけ、清潔な布ですべての消毒液を拭き取ります。
- 9 消毒液に浸した布で、Miranti 入浴用リフトトロリーの他の部分（シャーシなど）を拭きます。
- 10 水に濡らした新しい布で、Miranti 入浴用リフトトロリーのその他の部分の消毒液を完全に拭き取ります。消毒液を取り除くときは、適宜、流水で布の消毒液を洗い流してください。
- 11 消毒液を除去できない部分があるときは、水を散布して、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去されるまで、繰り返し行います。

次のページへ

消毒（17ステップの12-17）

12 消毒液の散布：

- *Miranti* 入浴用リフトトロリーの上部
- 取り除いた全ての部品

13 消毒液に浸した布で、*Miranti* 入浴用リフトトロリーの他の部分（シャーシなど）を拭きます。

14 消毒液容器のラベルに記載された指示に従って、消毒時間を計測してください。

15 水を散布またはシャワー（約 25 °C (77 °F)）をかけて、清潔な布で消毒液をすべて拭き取ります：

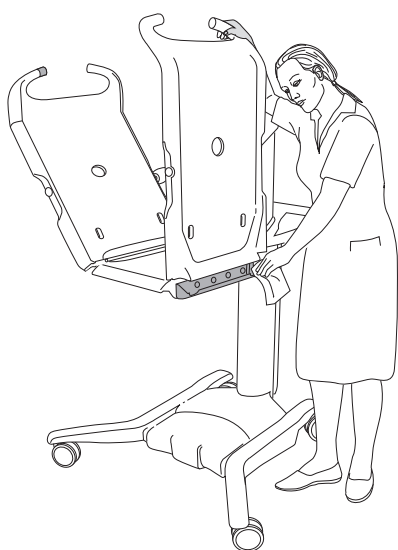
- *Miranti* 入浴用リフトトロリーの上部
- 取り除いた全ての部品
- *Miranti* 入浴用リフトトロリーの他の部分（シャーシなど）

消毒液を除去するときは、適宜、流水で布から消毒液を洗い流す必要があります。（**図 6**を参照）

16 消毒液を除去できない部分があるときは、水を散布して、使い捨てのタオルで拭きます。消毒液がすべて除去されるまで、繰り返し行います。

17 すべての部品を乾燥させます。

図 6



バッテリー使用上の注意

警告

怪我を防止するため、バッテリーへの衝撃、絶縁破壊、開封、分解、機械的な妨害を行わないでください。

- バッテリーケースが割れてバッテリー液が皮膚や衣類についた場合、直ちに水で洗い流してください。
- バッテリー液が目に入った場合、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診断を受けてください。
- バッテリーの内容物を吸引すると、呼吸器系に刺激を引き起こす可能性があります。新鮮な空気にて深呼吸し、医師の診断を受けてください。

- バッテリーを落下させないように注意してください。
- バッテリーを破棄する際、地域の地方自治体の指示に従ってください。
- バッテリーのラベルをチェックしてください。

低電圧警告

バッテリーの残量が少なくなるとブザー音が鳴ります。この場合、できる限り早く再充電するようにしてください。

バッテリーの保管

- バッテリーは充電された状態で納品されますが、少量の自己放電があるため、受け取ったらバッテリーを充電するようお勧めします。
- バッテリーは使用していないと徐々に放電します。

バッテリーは、 $-0^{\circ}\text{C} \sim +30^{\circ}\text{C}$ ($32^{\circ}\text{F} - 86^{\circ}\text{F}$) の温度範囲で保管及び輸送する必要があり、低い温度の方がサービス寿命は伸びます。

- 最大のバッテリー性能を得るには、 50°C (122°F) を超える環境でバッテリーを保管しないでください。

充電器の設置

バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

バッテリーの充電方法

バッテリー充電器の取扱説明書をご覧ください。

お手入れと定期保守・点検

Miranti 入浴用リフトトローリーは消耗するものであり、メーカーの仕様を維持するためには、以下の措置を講じる必要があります。

警告

傷害事故をもたらす不具合を防止するため、定期的な点検を実施し、推奨保守スケジュールに従ってください。製品が酷使されている場合、あるいは苛酷な環境にさらされている場合、さらに頻繁な点検を実施してください。地域の規制や基準が、本推奨メンテナンス計画よりも厳格な場合があります。

注記

患者に使用している間は、製品のメンテナンスや修理をすることはできません。

Miranti 入浴用リフトトローリーの保守・点検メンテナンス計画

介助者の義務である措置 / チェック	毎日	毎週	2年に1回
消毒	X		
機械式アタッチメントの点検		X	
安全ベルトの目視点検		X	
ハンドコントロールとケーブルのチェック		X	
キャスターのチェックと清掃		X	
中央ブレーキ機能とブレーキパッドの点検		X	
バッテリー充電器とバッテリーの目視点検		X	
露出部品すべての目視点検		X	
ウィンチフックとフックロープのチェック		X	
サイドガードと患者安全グリップの取り付けとロックのチェック		X	
安全ベルトの交換			X

警告

患者様や介助者の怪我を防止するため、製品を改造したり、互換性のない部品を使用しないでください。

図 1



介助者の義務

本取扱説明書の手順に従い、Miranti 入浴用リフトトrolleyに関する十分な知識を持った担当者によって、介助者の義務を実施してください。

毎日

- **消毒。** Miranti 入浴用リフトトrolleyは使用後ただちに洗浄しなければなりません。Arjo 製の消毒液とシャンプーは推奨濃度で使用してください。セクション 24 ページの**洗浄と消毒の手順**を参照してください。

毎週

- 特に利用者や介助者が触る部品など、**すべての露出部品の目視点検を行ってください。**患者またはユーザーの怪我の原因となる亀裂または鋭利な部分が発生していないこと、非衛生になっていないことを確認します。損傷した部品は交換してください。
- 足をシャーシに置き、両手でシート部分を持ち上げたりして、**機械式アタッチメントを検査**します。隙間は許されません。(図 1 参照)
- **ハンドコントロールとコード：**ハンドコントロールとケーブルの状態の目視点検を行う。切れ目、損傷が見つかったら、交換してください。(図 2 参照)
- **キャスターが適切に固定されていて、滑らかに回転・旋回するかチェックしてください。**水で清掃してください(床を清掃した際の石けん水、髪の毛、ほこり、化学薬品などによって機能に影響が及ぶ恐れがあります)。(図 3 参照)

図 2

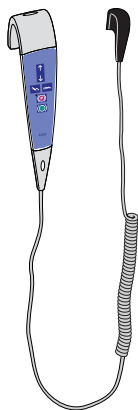


図 3

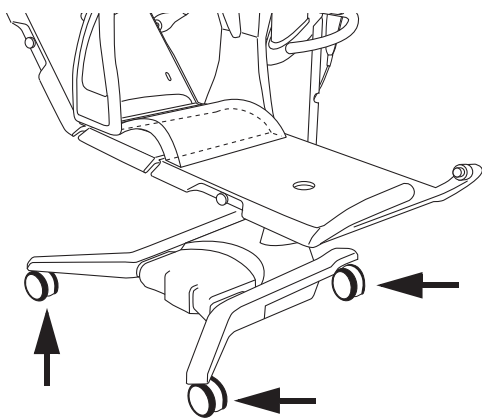
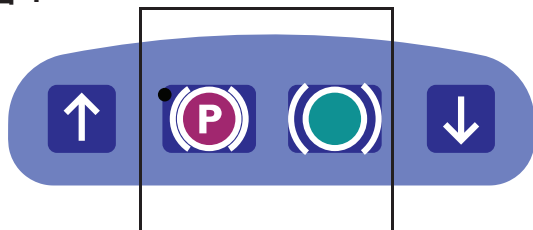


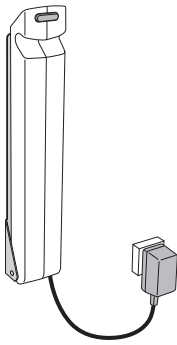
図 4



- 中央ブレーキをかけて**中央ブレーキ機能とブレーキパッドを検査**し、製品の移動を試みてください。製品を床から持ち上げないで移動することは不可能なはずです。(図 4 参照)

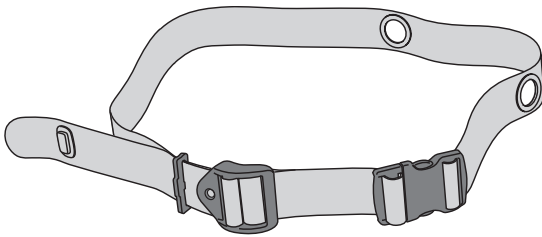
次のページへ

図 5



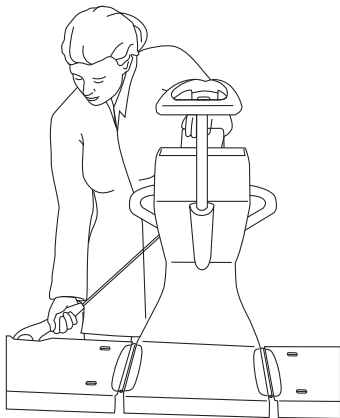
- バッテリー充電器、コード、バッテリーの状態の目視点検を行います。損傷している場合、直ちに取り外して交換してください。(図 5 参照)

図 6



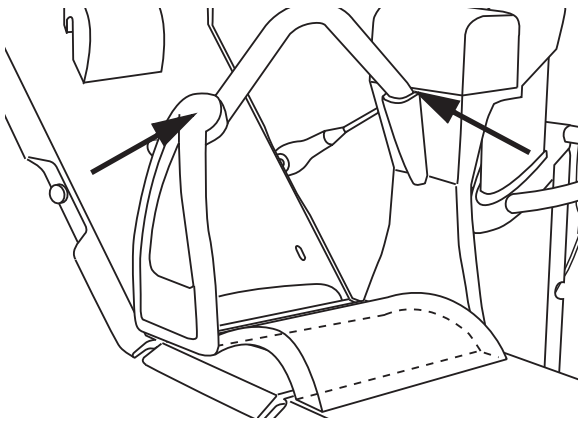
- 安全ベルトを目視点検します。全体の磨耗、切れ目、ひび割れ、裂け、内部繊維の露出、及び他の損傷がないか目視検査します。安全ベルトが損傷している場合、交換してください。(図 6 を参照)

図 7



- ウィンチフックとフックロープに損傷がないかチェックします。損傷している場合、交換してください。(図 7 参照)

図 8



- サイドガードと患者安全グリップの取り付けとロック機能をチェックします。全てのアタッチメントを所定の位置にしっかりと固定してください。(図 8 参照)。

毎年

Miranti 入浴用リフトトローリーは、表のとおり点検修理する必要があります 32 ページの有資格担当者による措置/チェック。

警告

怪我の防止及び製品を安全に使用するため、正しい工具、部品及び手順の知識を有する、有資格担当者により適切な頻度でメンテナンス作業を実施しなければなりません。有資格担当者は、本製品の研修履歴を記録する必要があります。

有資格担当者による措置 / チェック	毎年	2年に1回
ブレーキパッドの交換	X	
安全耐荷重テストの実施（国内要求事項）	X	
内部部品への注油	X	
バッテリーとバッテリー充電器のチェック	X	
体重計の校正（付属していて未認証の場合）	X	
重要な部品の腐食と損傷のチェック	X	
全ての機能テスト	X	
機械式アタッチメントのチェック	X	
最新のアップグレードされた部品になっているかチェックする	X	
安全停止機能のチェック	X	
緊急 高 / 低機能のチェック	X	
キャスターの検査	X	
ウィンチフックとフックロープの交換		X
ガイドピース、ブッシング及びアウタープロファイルシールの交換		X
アクチュエータのプラスチッククロスの交換		X
パワードライブキャスターのチェック		X
ウィンチ上のコグホイールの注油		X
スパイラルケーブルの注油		X


注記
表のチェックポイント 29 ページの介助者の義務である措置 / チェックを実施する際は、その全ての検査項目を確認する必要があります 32 ページの有資格担当者による措置 / チェック。

トラブルシューティング

想定される問題	措置
リフトを降ろすことしかできない。	本製品の昇降装置は安全ナットがついています。安全ナットが作動した場合、本製品は安全な位置まで降下することしかできません。このような場合、製品の使用をやめて、有資格担当者に連絡してください。

注記
本製品が正常に作動しない場合は、すぐに最寄の Arjo 代理店にご連絡の上、支援を要請してください。

技術仕様

Miranti 入浴用リフトトローリーモデル CEB8X0X	
安全耐荷重 (SWL) (患者の最大体重)	160 kg (353 lbs)
持ち上げ時の最大重量 (リフトと体重計)	103 kg (227 lbs)
ヘルスケア・福祉機器	種類 
使用温度 (水)	+20 °C ~ +45 °C (+68 °F - +113 °F)
温度	+10 °C ~ +40 °C (+50 °F - +104 °F)、動作時 -20 °C ~ +70 °C (-4 °F - +158 °F)、輸送時 -20 °C ~ +70 °C (-4 °F - +158 °F)、保管時
湿度	+20 °C (+68 °F) で 30 ~ 75%、動作時 +20 °C (+68 °F) で 10 ~ 80%、輸送時 +20 °C (+68 °F) で 10 ~ 80%、保管時
大気圧	800 hPa ~ 1060 hPa、動作時 500 hPa ~ 1100 hPa、輸送時 500 hPa ~ 1100 hPa、保管時
音量	< 58 dBA
操作モード	ED 最大 10%、最大 2 分 ON 最小 18 分 OFF
コントロールの操作力	2.7 N
汚染度	2

電気系	
バッテリー 番号 NDA 0100	密閉形鉛酸蓄電池 24 V、4 Ah
バッテリー充電器	NDA 1200-EU、NDA 2200-GB、NDA 4200-US、 NDA 6200-AU、および NDA 8200-INT
保護等級	IP X4
ヒューズ	F1 F10AL 250 V
ヒューズ	F2 T2.5AL 250 V

使用可能な組合せ	
Miranti 入浴用リフトトローリーパネルは以下の Arjo 製品と組み合わせて使用することができます。 その他の組合せは使用できません。	150 mm (5 7/8") のスペースを有する一般的な病院用 / 介護施設用ベッド、System 2000 浴槽

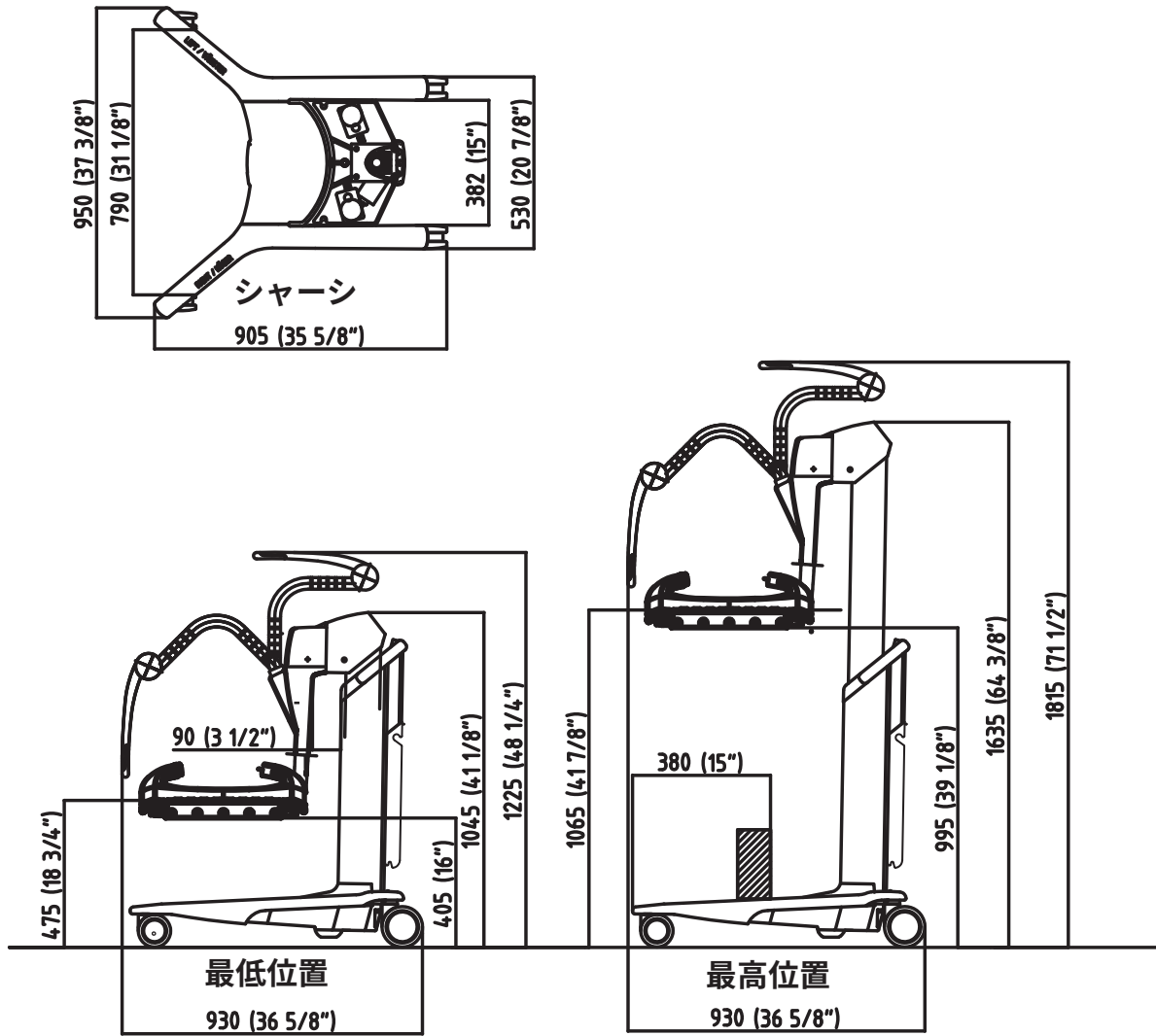
リサイクル

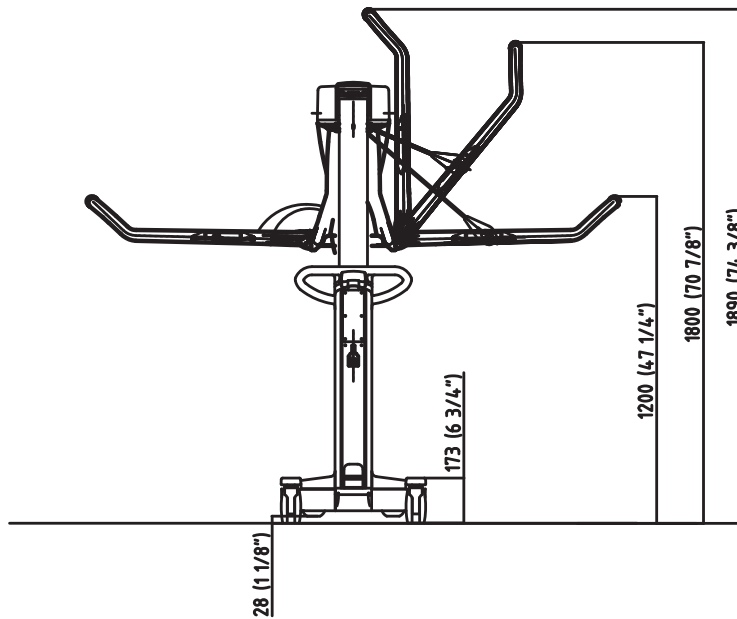
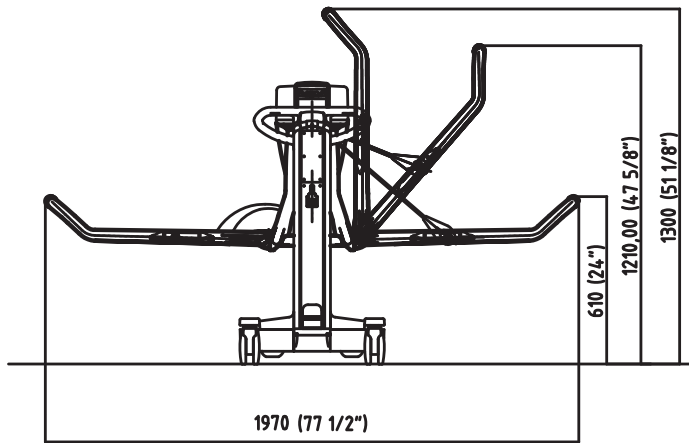
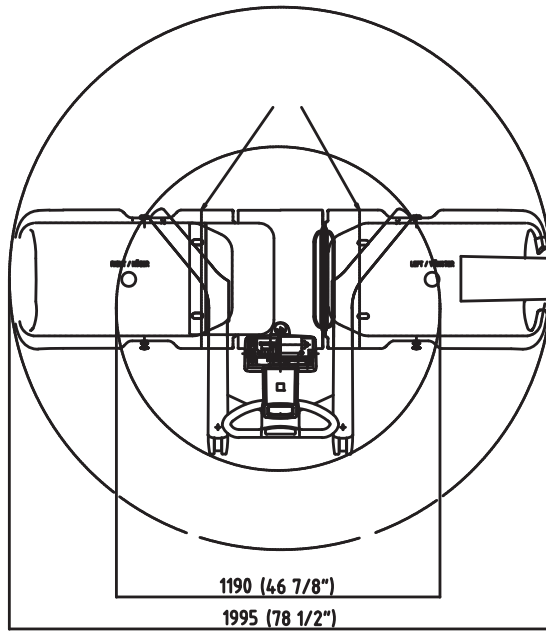
梱包	木材と段ボール箱 リサイクル可
----	--------------------

耐用年数後の廃棄方法

- 製品に付属しているすべてのバッテリーは別々にリサイクルしなければなりません。バッテリーは、国または地方条例に従って廃棄してください。
- 補強材、安定材、緩衝材およびその他の繊維またはポリマー、プラスチック材等を含むスリングは、可燃性廃棄物に分類してください。
- 電気および電子部品または電気コードがあるリフト関連製品は、電気・電子機器の廃棄 (WEEE) または地方自治体あるいは国の法令に従って分解し、リサイクルしてください。
- スリングバー、レール、レール保持部材のような主にさまざまな金属で構成される部品（重量で90%以上が金属）は、金属としてリサイクルしてください。

寸法




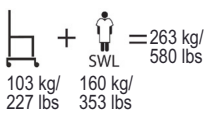

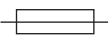






ラベル

ラベルの説明

注意 ラベル	正しく使用するための大切なユーザー情報。
バッテリーラベル	バッテリーの安全性と環境情報が記載されています。
データラベル	入力電力、入力電圧および最大患者重量等の技術的性能および要件が記載されています。
識別ラベル	製品識別、製造番号及び製造年と月が記載されています。

記号の説明

	B 等級、適用部品：IEC 60601-1 に基づく感電に対する保護
本製品の安全な最大定格耐荷重を表します。	安全耐荷重 160 kg (353 lbs)。
	機器の全重量。安全使用荷重を含む。
	リフティング行程 590 mm (23 1/4")
24V DC	供給電圧
最大：150 VA	最大電力
	ヒューズ F1: F10AL 250 V Fuse F2: T2.5AL 250 V
IP X4	防水防塵保護等級 (例、製品は水はね程度から保護されている)
ED 最大 10%	高 / 低機能の操作モード： ED 最大 10% ； 最大 2 分 ON ； 最小 18 分 OFF
NDA0100-XX	バッテリー製品番号
	使用前に、取扱説明書をお読みください
	バッテリーは本製品の主電源です。
	リサイクル可
	欧州指令 2012/19/EU (WEEE) に基づく、リサイクル用電気及び電子コンポーネントの分別。

	以下に準拠する感電、火災、機械的危険およびその他の特定障害に関する分類は、Underwriters Laboratories Inc. によります： AAMI ES60601-1:2005、ES60601-1:2005/AMD1 1:2012、ES60601-1:2005/AMD2:2021 CSA-C22.2 No. 60601-1:14、修正 2:2022 (MOD) から CAN/CSAC22.2 No. 60601-1:14 IEC 60601-1:2005+A1:2012+A2:2020。
	欧州共同体統一法への適合を示す CE マーキング。 図は、監督認証機関のトレードマークです。
	本製品が EU 医療機器規制 2017/745 に準拠した医療機器であることを示します
	環境危険 - 鉛を含有。 廃棄不可
	製造元の名称及び住所
	製造日
最大	計量機器の最大能力
最小	最大容量 / サービス電話番号
e	検定間隔
	計測学マーク (指令 2014/31/EC (NAWI) の適合性を示す) YY = 年 (クラス III 体重計のみ)
	モデル番号
	シリアル番号
	体重計の使用における最小 / 最大温度を示します
	機器固有識別子 (UDI)

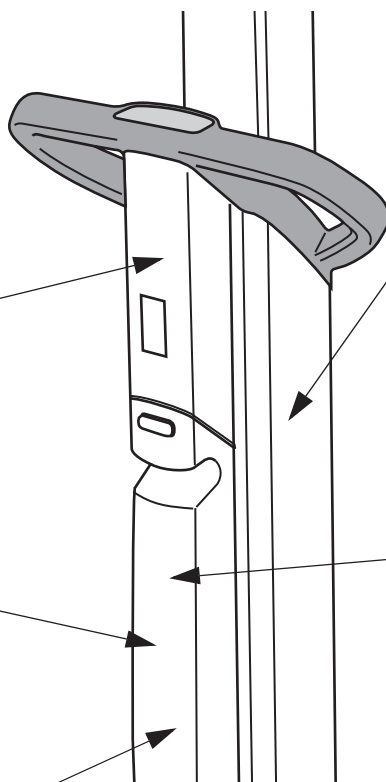


注意 ラベル

承認ラベル
バッテリーラベル
データラベル



適用部品



体重計ラベル

識別ラベル

電磁両立性

本製品は、外部環境から EMI（電磁障害）を遮断する能力に関して、現行の規制基準への準拠がテストされています。

一部手順は電磁波の干渉軽減に役立ちます。

- モニタリング装置 / 生命維持装置などが、電磁エミッション規格に準拠しているか確認してください。

警告

本製品を他の機器に隣接して使用したり、または積み重ねて使用すると、誤作動することがありますので避けてください。このような使用法が必要な場合、本製品と他の機器を観察して、正常に作動しているか確認してください。

警告

ポータブル RF 通信機器（アンテナケーブルや外部アンテナなどの周辺機器を含む）は、メーカー指定のケーブルを含む Miranti のすべての部品から 30 cm（12 インチ）以上離して使用しなければなりません。守らない場合、この機器の性能が低下する場合があります。

警告

製造元が指定または提供したもの以外の付属品、変換機、ケーブルを使用すると、この機器における電磁放射の増加または電磁環境耐性の減少を引き起こし、不適切な動作につながる可能性があります。

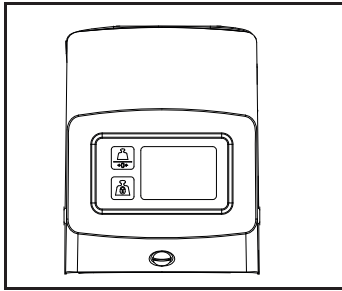
想定する使用環境：専門 / 医療施設の環境下

例外：磁気共鳴映像法用 ME システムの無線シールドルームおよび高周波手術器具

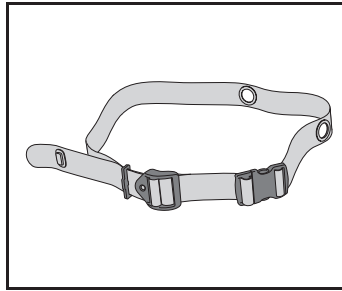
ガイダンスおよび製造元による宣言 - 電磁界エミッション		
エミッション試験	コンプライアンス	ガイダンス
RF 放射 CISPR 11	グループ 1	本製品は RF エネルギーをその内部機能のためにのみ使用します。従って、その RF エミッションは非常に低いいため、近隣の電気機器に影響を及ぼしにくくなっています。
RF 放射 CISPR 11	クラス B	本製品は家庭用施設、および家庭用に使われる建物に供給する公共低電圧電力供給ネットワークに直接接続されたものを含む、あらゆる施設での使用に適しています。

ガイダンスとメーカー宣言 - 電磁環境耐性		
イミュニティ試験	IEC 60601-1-2 試験レベル	コンプライアンスレベル
静電気放電 (ESD) EN 61000-4-2	±2kV、±4kV、±8kV、±15kV 大気中 ±8kV 接触	±2kV、±4kV、±8kV、±15kV 大気中 ±8kV 接触
RF 場により惹起された 電動妨害 EN 61000-4-6	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM および アマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて	0.15 MHz ~ 80 MHz において 3V 0.15 MHz ~ 80 MHz 間の ISM および アマチュア無線周波数帯において 6V 80% AM、1 kHz にて
放射 RF 電磁場 EN 61000-4-3	専門 / 医療施設の環境下 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて	専門 / 医療施設の環境下 3 V/m 80 MHz ~ 2.7 GHz 80% AM、1 kHz にて
RF 無線通信機器の近接 フィールド EN 61000-4-3	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m	385 MHz - 27 V/m 450 MHz - 28 V/m 710, 745, 780 MHz - 9V/m 810, 870, 930 MHz - 28 V/m 1720, 1845, 1970, 2450 MHz - 28 V/m 5240, 5500, 5785 MHz - 9V/m
電氣的ファースト・トラ ンジェント / バースト EN 61000-4-4	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数	±1kV SIP/SOP ポート 100 kHz 繰返し周波数
電力周波数磁界 EN 61000-4-8	30 A/m 50 Hz または 60 Hz	30 A/m 50 Hz
近接磁界 EN 61000-4-39	134.2 kHz - 65 A/m 13.56 MHz - 7.5 A/m	134.2 kHz - 65 A/m 13.56 MHz - 7.5 A/m

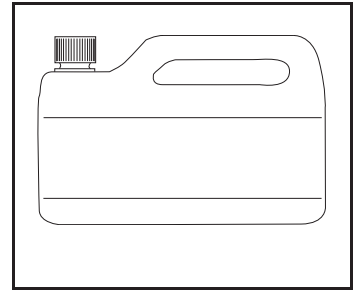
部品とアクセサリ



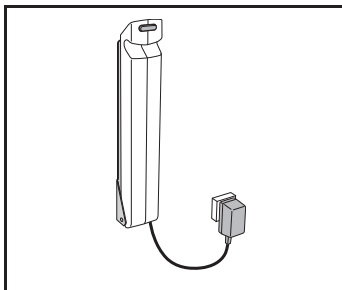
電気式体重計
CDA2100-01



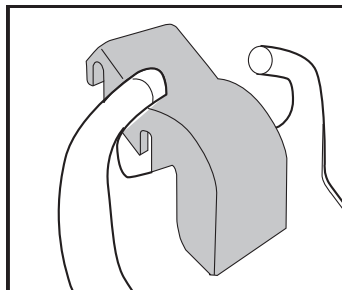
安全ベルト
8664559



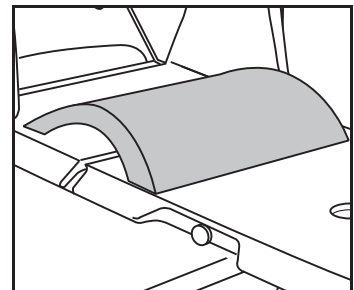
消毒に関してのご質問
は、最寄りのArjo代理店
までご連絡ください



バッテリーおよびバッテ
リー充電器



ヘッドレスト



大腿部サポートクッション



パワードライブ

意図的に空白

AUSTRALIA

Arjo Australia
 Building B, Level 3
 11 Talavera Road
 Macquarie Park, NSW, 2113,
 Australia
 Phone: 1800 072 040

BELGIQUE / BELGIË

Arjo Belgium
 Evenbroekveld 16
 9420 Erpe-Mere
 Phone: +32 (0) 53 60 73 80
 Fax: +32 (0) 53 60 73 81
 E-mail: info.belgium@arjo.com

BRASIL

Arjo Brasil Equipamentos Médicos Ltda
 Rua Marina Ciufuli Zanfelice, 329 PB02
 Galpão - Lapa
 São Paulo – SP – Brasil
 CEP: 05040-000
 Phone: 55-11-3588-5088
 E-mail: vendas.latam@arjo.com
 E-mail: servicios.latam@arjo.com

CANADA

Arjo Canada Inc.
 90 Matheson Boulevard West
 Suite 350
 CA-MISSISSAUGA, ON, L5R 3R3
 Tel/Tél: +1 (905) 238-7880
 Free: +1 (800) 665-4831
 Fax: +1 (905) 238-7881
 E-mail: info.canada@arjo.com

ČESKÁ REPUBLIKA

Arjo Czech Republic s.r.o.
 Na Strži 1702/65
 140 00 Praha
 Czech Republic
 Phone No: +420225092307
 E-mail: info.cz@arjo.com

DANMARK

Arjo A/S
 Vassingerødvej 52
 DK-3540 LYNGE
 Tel: +45 49 13 84 86
 Fax: +45 49 13 84 87
 E-mail: dk_kundeservice@arjo.com

DEUTSCHLAND

Arjo GmbH
 Peter-Sander-Strasse 10
 DE-55252 MAINZ-KASTEL
 Tel: +49 (0) 6134 186 0
 Fax: +49 (0) 6134 186 160
 E-mail: info-de@arjo.com

ESPAÑA

ARJO IBERIA S.L.
 Poligono Can Salvatella
 c/ Cabanyes 1-7
 08210 Barberà del Valles
 Barcelona - Spain
 Telefono 1: +34 900 921 850
 Telefono 2: +34 931 315 999

FRANCE

Arjo SAS
 2 Avenue Alcide de Gasperi
 CS 70133
 FR-59436 RONCQ CEDEX
 Tél: +33 (0) 3 20 28 13 13
 Fax: +33 (0) 3 20 28 13 14
 E-mail: info.france@arjo.com

HONG KONG

Arjo Hong Kong Limited
 Room 411-414, 4/F, Manhattan Centre,
 8 Kwai Cheong Road, Kwai Chung, N.T.,
 HONG KONG
 Tel: +852 2960 7600
 Fax: +852 2960 1711

ITALIA

Arjo Italia S.p.A.
 Via Giacomo Peroni 400-402
 IT-00131 ROMA
 Tel: +39 (0) 6 87426211
 Fax: +39 (0) 6 87426222
 E-mail: Italy.promo@arjo.com

MIDDLE EAST

Arjo Middle East FZ-LLC
 Office 908, 9th Floor,
 HQ Building, North Tower,
 Dubai Science Park,
 Al Barsha South
 P.O. Box 11488, Dubai,
 United Arab Emirates
 Direct +971 487 48053
 Fax +971 487 48072
 Email: Info.ME@arjo.com

NEDERLAND

Arjo Nederland BV
 Biezenwei 21
 4004 MB TIEL
 Postbus 6116
 4000 HC TIEL
 Tel: +31 (0) 344 64 08 00
 Fax: +31 (0) 344 64 08 85
 E-mail: info.nl@arjo.com

NEW ZEALAND

Arjo Ltd
 34 Vestey Drive
 Mount Wellington
 NZ-AUCKLAND 1060
 Tel: +64 (0) 9 573 5344
 Free Call: 0800 000 151
 Fax: +64 (0) 9 573 5384
 E-mail: nz.info@Arjo.com

NORGE

Arjo Norway AS
 Olaf Helsets vei 5
 N-0694 OSLO
 Tel: +47 22 08 00 50
 Faks: +47 22 08 00 51
 E-mail: no.kundeservice@arjo.com

ÖSTERREICH

Arjo Austria GmbH
 Lemböckgasse 49 / Stiege A / 4.OG
 A-1230 Wien
 Tel: +43 1 8 66 56
 Fax: +43 1 866 56 7000

POLSKA

Arjo Polska Sp. z o.o.
 ul. Ks Piotra Wawrzyniaka 2
 PL-62-052 KOMORNIKI (Poznań)
 Tel: +48 61 662 15 50
 Fax: +48 61 662 15 90
 E-mail: arjo@arjo.com

PORTUGAL

Arjo em Portugal
 MAQUET Portugal, Lda.
 (Distribuidor Exclusivo)
 Rua Poeta Bocage n.º 2 - 2G
 PT-1600-233 Lisboa
 Tel: +351 214 189 815
 Fax: +351 214 177 413
 E-mail: Portugal@arjo.com

SUISSE / SCHWEIZ

Arjo Switzerland AG
 Fabrikstrasse 8
 Postfach
 CH-4614 HÄGENDORF
 Tél/Tel: +41 (0) 61 337 97 77
 Fax: +41 (0) 61 311 97 42

SUOMI

Arjo Scandinavia AB
 Riihitontuntie 7 C
 02200 Espoo
 Finland
 Puh: +358 9 6824 1260
 E-mail: Asiakaspalvelu.finland@arjo.com

SVERIGE

Arjo International HQ
 Hans Michelsensgatan 10
 SE-211 20 MALMÖ
 Tel: +46 (0) 10 494 7760
 Fax: +46 (0) 10 494 7761
 E-mail: kundservice@arjo.com

UNITED KINGDOM

Arjo UK and Ireland
 Houghton Hall Park
 Houghton Regis
 UK-DUNSTABLE LU5 5XF
 Tel: +44 (0) 1582 745 700
 Fax: +44 (0) 1582 745 745
 E-mail: sales.admin@arjo.com

USA

Arjo Inc.
 2349 W Lake Street Suite 250
 US-Addison, IL 60101
 Tel: +1 (630) 307-2756
 Free: +1 (800) 323-1245
 Fax: +1 (630) 307 6195
 E-mail: us.info@arjo.com

JAPAN

Arjo Japan K.K.
 東京都港区虎ノ門三丁目7番8号
 ランディック第2 虎ノ門ビル9 階
 Tel: +81 (0)3-6435-6401
 Fax: +81 (0)3-6435-6402
 E-mail: info.japan@arjo.com

At Arjo, we are committed to improving the everyday lives of people affected by reduced mobility and age-related health challenges. With products and solutions that ensure ergonomic patient handling, personal hygiene, disinfection, diagnostics, and the effective prevention of pressure ulcers and venous thromboembolism, we help professionals across care environments to continually raise the standard of safe and dignified care. Everything we do, we do with people in mind.



ArjoHuntleigh AB
Hans Michelsensgatan 10
211 20 Malmö, Sweden
www.arjo.com

arjo

CE
2797